

**公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本獣医師会・厚生労働省による
連携シンポジウム「わたしたちの身近にせまる感染症－ワンヘルスの視点から
新たな感染症と再流行する感染症を考える－」の開催について**

平素は、本会事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本医師会より標記シンポジウム開催に関する通知が発出されましたので、情報提供いたします。概要は下記の通りであり、聴講希望者は直接会場にお越しいただきたいとのおことです（事前登録不要）。

貴会におかれましてはご了知の上、会員医療機関へのご周知をお願い申し上げます。

記

- 開催日時：令和5年12月3日（日）13：00～16：00
- 開催場所：神戸国際会議場（兵庫県神戸市）国際会議室（3F） 参加費：無料
 - ・本シンポジウムは、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の助成により、「第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）」のプログラムとして開催。
 - ・本シンポジウムへの参加費は無料ですが、「第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）」における他の企画を聴講する場合は有料。
 - ・本シンポジウムの聴講を希望される場合には、開催当日、シンポジウム会場へ直接ご来場ください（事前登録不要）。氏名等をご記載の上、入場用のストラップ等をお渡しします。
- 演題など
 - 1 「新興・再興感染症って何？」
岡部信彦先生（川崎市健康安全研究所）
 - 2 「アニサキス症－今では一番多い寄生虫による食中毒－」
杉山広先生（国立感染症研究所）
 - 3 「SFTSとエゾウイルス感染症－マダニが媒介する新たな感染症－」
松野啓太先生（北海道大学）
 - 4 「サル痘（エムポックス）－アフリカ流行地以外で急増した人と動物の共通感染症－」
森川茂先生（岡山理科大学）
 - 5 「梅毒－過去の病気ではない、若者が注意したい再流行する感染症－」
尾上泰彦先生（プライベートケアクリニック東京）

【参考・日本医師会通知掲載ホームページ／メンバーズルーム】

<https://www.med.or.jp/login.html>

https://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009135.html

※メンバーズルームへのログインには会員ID、パスワードが必要

ID等の問合せは、日本医師会（代表・03-3946-2121）まで



日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム

わたしたちの身近にせまる感染症

ーワンヘルスの視点から新たな感染症と再流行する感染症を考えるー

主 催：公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本獣医師会、厚生労働省

開催日時：令和5年12月3日（日）13：00～16：00

開催場所：神戸国際会議場（兵庫県神戸市）国際会議室（3F）

参加費：無 料

開催内容：

・ 挨拶

公益社団法人 日本医師会

公益社団法人 日本獣医師会

厚生労働省

・ シンポジウム

座 長：岡部 信彦 先生（川崎市健康安全研究所）

丸山 総一 先生（日本大学）

1 「新興・再興感染症って何？」

岡部 信彦 先生（川崎市健康安全研究所）

2 「アニサキス症 ー今では一番多い寄生虫による食中毒ー」

杉山 広 先生（国立感染症研究所）

3 「SFTS とエゾウイルス感染症 ーマダニが媒介する新たな感染症ー」

松野 啓太 先生（北海道大学）

4 「サル痘（エムポックス） ーアフリカ流行地以外で急増した人と動物の共通感染症ー」

森川 茂 先生（岡山理科大学）

5 「梅毒 ー過去の病気ではない、若者が注意したい再流行する感染症ー」

尾上 泰彦 先生（プライベートケアクリニック東京）

※ 本シンポジウムは、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の助成をいただき、「第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）」のプログラムとして開催します。

※ 本シンポジウムへの参加費は無料ですが、「第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）」における他の企画を聴講する場合は有料となります。

※ 本シンポジウムの聴講を希望される場合には、開催当日、シンポジウム会場へ直接ご来場ください（事前登録不要）。氏名等をご記載いただいた上で、入場用のストラップ等をお渡しします。